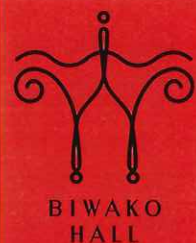


クリスマスコンサート

メサイア物語

びわ湖ホール 声楽アンサンブル 第5回 定期公演



1999年12月18日(土) 17時開演 / 19日(日) 14時開演
滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 小ホール

◎指揮 三澤洋史(声楽アンサンブル専任指揮者) ◎ご案内人 木川田澄
◎ソロ・合唱 びわ湖ホール声楽アンサンブル ◎管弦楽 辻井淳(Vn)、奥田章子(Vn)
百武由紀(Vla)、長明健郎(Vc)、奥田二夫(Cb)、吉田治人(Trp)、安永友昭(Timp)、卜部俊子(Org.)

●主催 財団法人びわ湖ホール
●入場料 一般 4,000円 / 学生席 2,500円(いずれも全席指定)
●学生席はびわ湖ホールでのみ取り扱っております
●6歳未満のお子様はご入場になれません
●チケット取り扱い びわ湖ホール ☎077-523-7136
●チケットぴあ ☎06-6363-9999
◎チケット発売 9月19日(日) 10時より
◎友の会優先発売 9月16日(木) 10時より

ヘンデルのオラトリオの中でも代表作のひとつ「メサイア」。
救世主という意味を持つこの曲を、
身近に楽しんでいただくために作られた「メサイア物語」。
ヨーロッパの宮殿の広間で聴いているように、
すぐ目の前で繰り広げられる音楽物語を
臨場感あふれる小ホールでお楽しみください。

語りと歌と演奏で織りなす、
新しいメサイアの世界。

メサイア物語

びわ湖ホール
声楽アンサンブル
第5回
定期公演

語りと歌と演奏で織りなす、
新しいメサイアの世界。

「メサイア」は「救世主」という意味で、ヘンデルの代表作のひとつ。キリストの物語に劇的表現を取り入れたこのオラトリオは1742年の初演当時も大変な人気を博しました。その叙情的、感動的な旋律は数多くのオペラを作曲したヘンデルならではのもので、〈イエス＝キリストの降誕の予言とその威厳〉、〈キリストの受難と贖罪〉、〈キリストの復活と永遠の生命〉といったテーマをつづった3部構成の宗教曲です。本来は、独唱、合唱と管弦楽が組み合わされた大規模な作品ですが、今回の「メサイア物語」は、この名曲をもっと身近に楽しんでいただくためにつくられました。

ヘンデル(1685-1759)はJ.S.バッハと同じ年の生まれで、同時代に活躍した作曲家です。J.S.バッハの「マタイ受難曲」や「ヨハネ受難曲」といったミサ曲では、福音史家と呼ばれる語り手がキリストの受難の物語を歌っていきますが、「メサイア」は聖書の順に書かれているわけではなく、また、福音史家も登場しません。そこで作品全体をより聴きやすい形にするために抜粋し、福音史家の役割を担う語り手を加え、「メサイア」の物語を作品のあいだに織り込みました。

ソロと合唱は、びわ湖ホールが誇る声楽アンサンブル。それぞれがソリストでありながら、アンサンブルにも力を発揮するメンバーにとって、「メサイア物語」は、まさに実力のみせどころと言えるでしょう。指揮をつとめる三澤洋史が物語を構成、オペラなどで活躍するバリトンの木川 澄が、物語の案内人としてその声を語りて聴かせます。演奏は、現在活躍する若手音楽家たちが、弦楽五重奏とトランペット、ティンパニ、オルガンという小編成ながら、オーケストラとはまた違った趣で音楽のエッセンスを奏でます。

小ホールの「メサイア物語」。ヨーロッパの宮殿の広間で聴いているように、語りも歌も演奏もどうぞお近くでお楽しみ下さい。

三澤洋史

群馬県出身。国立音楽大学声楽科卒業後指揮者に転向。1984年ベルリン芸術大学指揮科を首席で卒業。'85年東京の夏音楽祭でオペラ指揮者としてデビュー。二期会オペラスタッフの中心的存在として数々の公演を成功に導いてきた中で、オペラに関するあらゆる知識、技術に精通する。最近では二期会合唱団、東京オペラシンガーズなどの合唱指揮者としての活躍がめざましい。ホルスト・シュタイン、サヴァリッシュ、デュトワなど外来指揮者からの信頼も厚く、今年の夏はバイロイト音楽祭に合唱アシスタントとして招かれた。また、来年の夏にも招かれている。一方宗教曲に造詣が深く、特にバッハに傾倒。「マタイ受難曲」「ヨハネ受難曲」「口短調ミサ曲」などを暗譜でレパートリーに持っている。現在、東京芸術大学非常勤講師。



木川 澄

東京芸術大学声楽科卒業。同大学院修了。伊藤巨行、中山佛一の両氏に師事。文化庁オペラ研修所第一期生修了。1979年度文化庁在外研修員として独逸・ウィーン音楽大学(オペラ科)で研修。オペラでは「魔笛」「ドン・ジョヴァンニ」「フィガロの結婚」「ドン・カルロ」「仮面舞踏会」「リコレッタ」「ニュールンベルクの名歌手」「ラインの黄金」「セビリアの理髪師」「夕鶴」県民オペラ「シンデレラ」等。また、コンサートでは「メサイア」「サウル」「レクイエム」(モーツァルト、ヴェルディ)「ミサ・ソレムニス」「第九」「森の歌」「キリストの幼時」等に出演。来秋には関西二期会公演「ワーグナー『パルシファル』」にグルネマンツ役として出演予定。滋賀大学教授。日本ワーグナー協会、日本演奏連盟、関西二期会の各会員。



びわ湖ホール声楽アンサンブル

びわ湖ホール創造活動の核となる専属の声楽家集団として、1998年3月に設立。若杉芸術監督監修のもと、びわ湖ホール自主公演への出演を中心に、各地での普及活動を通じて広く親しまれる団体をめざしている。現在、三澤洋史が専任指揮者に就任し、意欲的な活動を展開中。公共ホールとしては日本初の専属声楽家団体であり、今、日本で最も注目されているクオリティの高いアンサンブルである。

1999年12月18日(土)17:00開演/19日(日)14:00開演

滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 小ホール

チケット
取り扱い

入場料＝一般4000円/学生席2500円(いずれも全席指定)

●学生席はびわ湖ホールでのみ取り扱っております ●6歳未満のお子様はご入場になれません ●びわ湖ホールチケットセンター
TEL.077-523-7136(受付10:00～19:00) ●チケットぴあ TEL.06-6363-9999

【びわ湖ホール友の会】会員募集中!

お問い合わせ・お申し込み
財団法人びわ湖ホール事業部広報営業課 TEL.077-523-7137

ジルベスターコンサート in シガ 1999-2000

指揮＝松尾葉子、ピアノ独奏＝及川浩治、ソロ・合唱＝びわ湖ホール声楽アンサンブル、管弦楽＝大阪シンフォニカー、ファンファーレ＝県民ファンファーレ隊 ●1999年12月31日(金)22:00開演 大ホール ●入場料＝S席6,000円、A席5,000円、B席4,000円、C席3,000円(いずれも全席指定) ●10月2日(土)チケット発売

お知らせ

びわ湖ホール
交通のご案内

京都から9分、大阪から39分、名古屋から60分(JR利用・大津駅着)

●JR大津駅前よりバス約5分(びわ湖ホール下車) ●JR琵琶湖線「大津」駅、「膳所」駅より徒歩約15分
●京阪電鉄「石場」駅より徒歩約3分 ●名神高速大津ICより約5分(びわ湖ホール駐車場854台・有料)



滋賀県立芸術劇場

びわ湖ホール

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜1番1号 TEL.077-523-7133(代)
http://www.biwako-hall.or.jp/